

Y11b 国立天文台野辺山における星空撮影会

衣笠健三, 井出秀美, 宮澤和彦, 御子柴廣, 羽多野聡美 (国立天文台), 大西浩次 (長野高専)

国立天文台野辺山宇宙電波観測所では、2016年度に2回(うち1回は実施できず)、2018年に1回、「野辺山観測所・星空撮影会」を一般向けのイベントとして実施した。観測所では通常、安全確保と観測環境保護のため夜間の見学者の入構はお断りしている。一方で、地元である南牧村は「日本三選星名所」のひとつにも選ばれた星空の美しい場所として認知されており、「構内で夜間に写真撮影をしたい」というご要望も少なくない。そのため、共同利用観測に影響がなく、また比較的天候のよい時期を選んで、「星空とアンテナ」を撮影する機会とした。

観測所の広報などに使用するためイベントで撮影した作品から何点か提供して頂くことを条件として、広く参加者を募集した。応募総数が80名以上と多数のため、参加者が30名程度になるように書類選考を実施した。開催にあたっては、前日の天候判断により決行するかどうかの判断をした。1回目は撮影時間から快晴となり、多くの参加者が満足するものとなった。ただ、2回目は中止、今年度実施した3回目は、見送り順延という措置をとった後決行したが、あいにくの雨となり、施設見学、施設撮影会という形となった。提供いただいた作品は、観測所の広報だけでなく、「長野県は宇宙県」をアピールするためにもたいへん重要なものとなっている。一方で、無線使用禁止などの観測所特有の事情などを理解して頂くなどのオリエンテーションと観測所の概要や役割を紹介する講演会も実施した。悪天候で施設撮影会を行った3回目の参加者からは「別の意味でたいへん貴重な時間だった」といった意見を頂くなど、撮影だけでなく、観測所の広報の意味でもたいへん貴重な機会となった。

このほか、南牧村・南牧村観光協会主催で実施した「野辺山タイムラプスプロジェクト」についても紹介する。